

2009年3月期 決算説明会

蛇の目マシン工業株式会社

2009年5月19日

将来予想に関する注意事項

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

そのため、今後、市況や為替レートの変動などを含む様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

I 2009年3月期 決算概要（連結）

II 収益改善計画 並びに2010年3月期計画

2009年3月期 決算概要(連結)

業績の概要



(百万円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	増減 (前期比)
売上高	47,421	40,487	-6,933
営業利益	1,312	459	-853
〔営業利益率〕	2.8%	1.1%	-1.7%
経常利益	324	△ 171	-496
〔経常利益率〕	0.7%	—	—
当期純利益	△ 1,207	△ 5,083	-3,876
為替レート (円/US\$)	114.43	100.77	-13.66

* 為替レートは期中平均レート

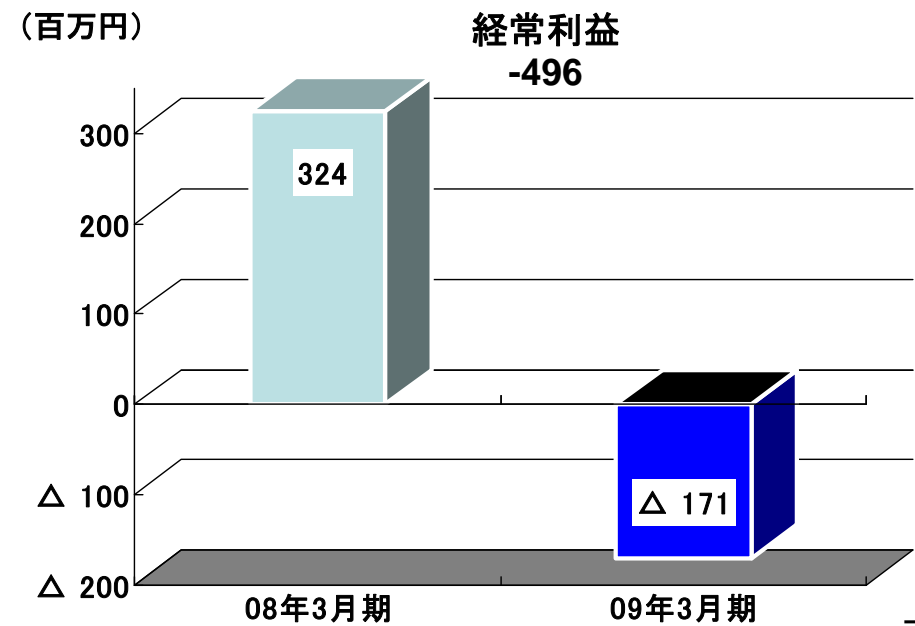
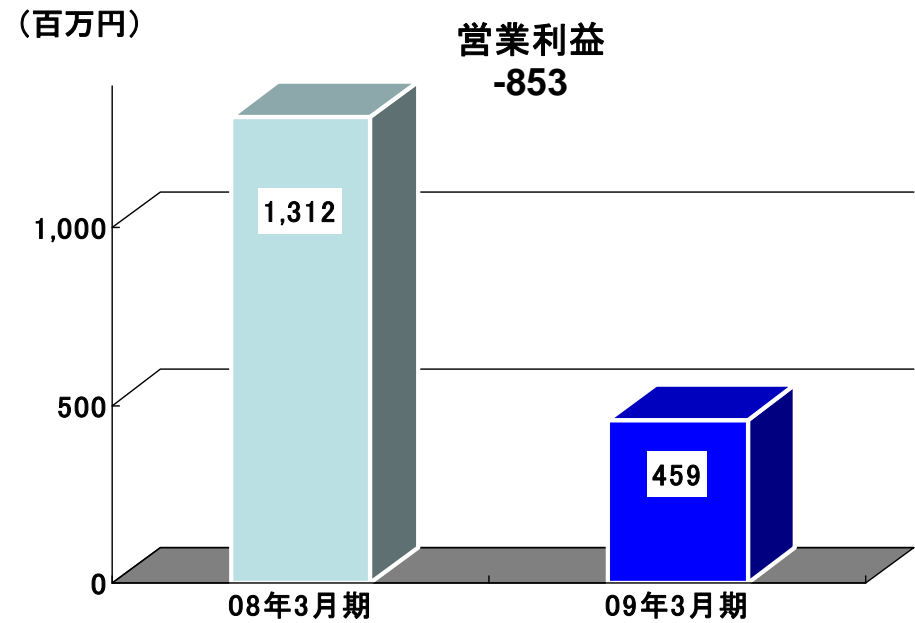
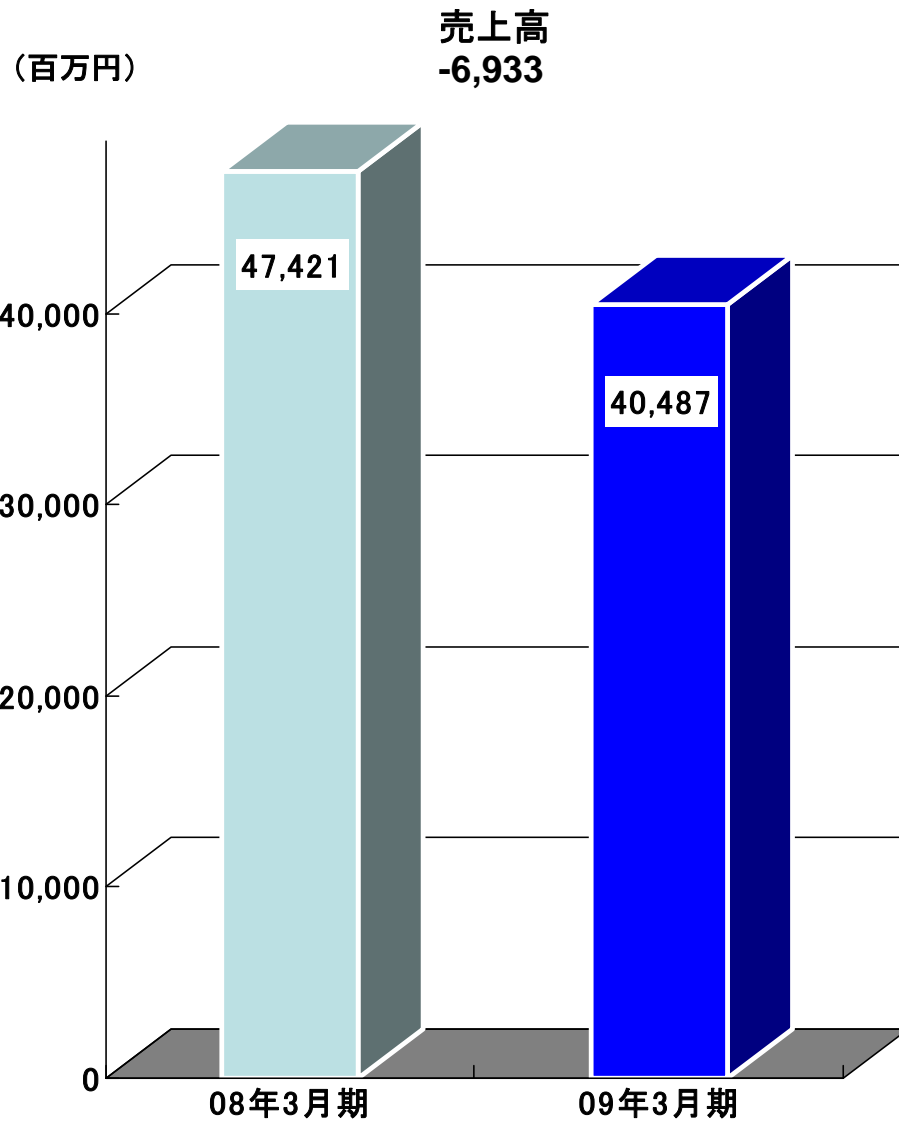
売上の減少要因

- ① 売上高は下半期に入っての世界的景気の急激な後退と大幅な円高の影響により減収。
- ② 家庭用マシン販売は世界的不況による消費者購買意欲が減退。欧米におけるクレジットカード与信枠の規制により高額機種の販売が減少。
- ③ 産業機器事業は企業の設備投資抑制の動きにより、ロボット・エレクトロプレスの販売が減少。
ダイカスト事業についても、主力の自動車関連業界からの受注が大幅に減少。

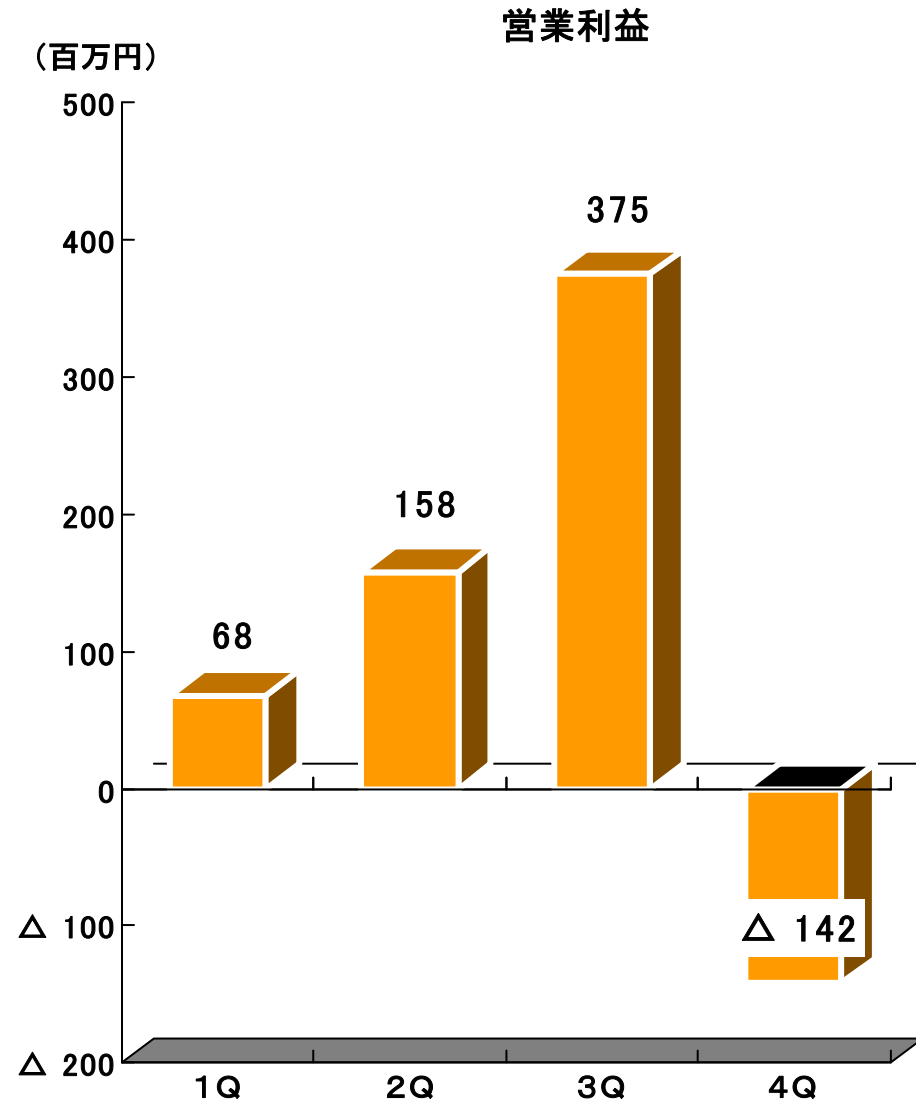
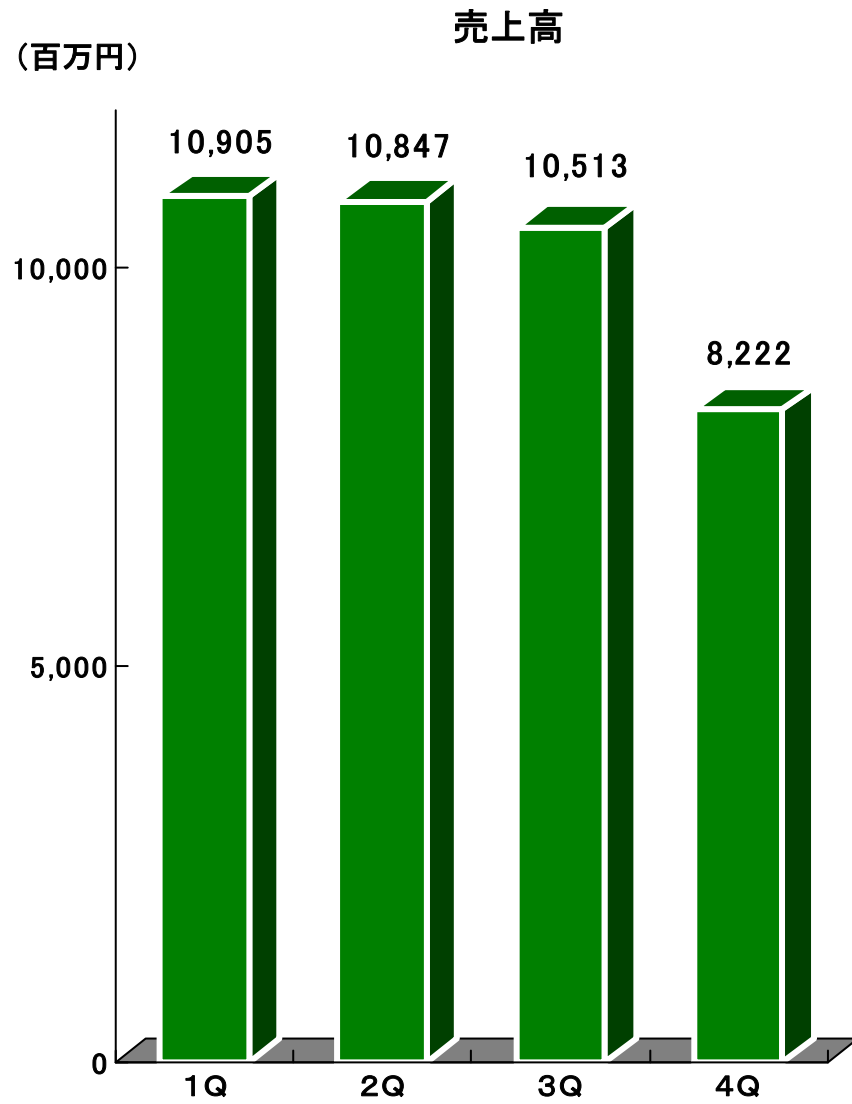
最終利益の減少要因

- ① 東京工場新3号棟建設に伴う解体工事代等を含む固定資産除却損(約2.3億円)を計上。
- ② 2008年9月末の株価急落による、保有株式の評価損(約2.7億円)を計上。
- ③ 関係会社(蛇の目興産、宝生ミシン製造、トピア工業)の清算とジャノメアメリカのメキシコ支店閉鎖に関する費用として、関係会社整理損(約3.5億円)を引当計上。
- ④ 当期経常利益段階での欠損、予想される景気低迷の長期化により、今後、収益の急激な増加は期待できないことを勘案し、健全性の観点から繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額(約36億円)に計上。

業績(前年同期比)

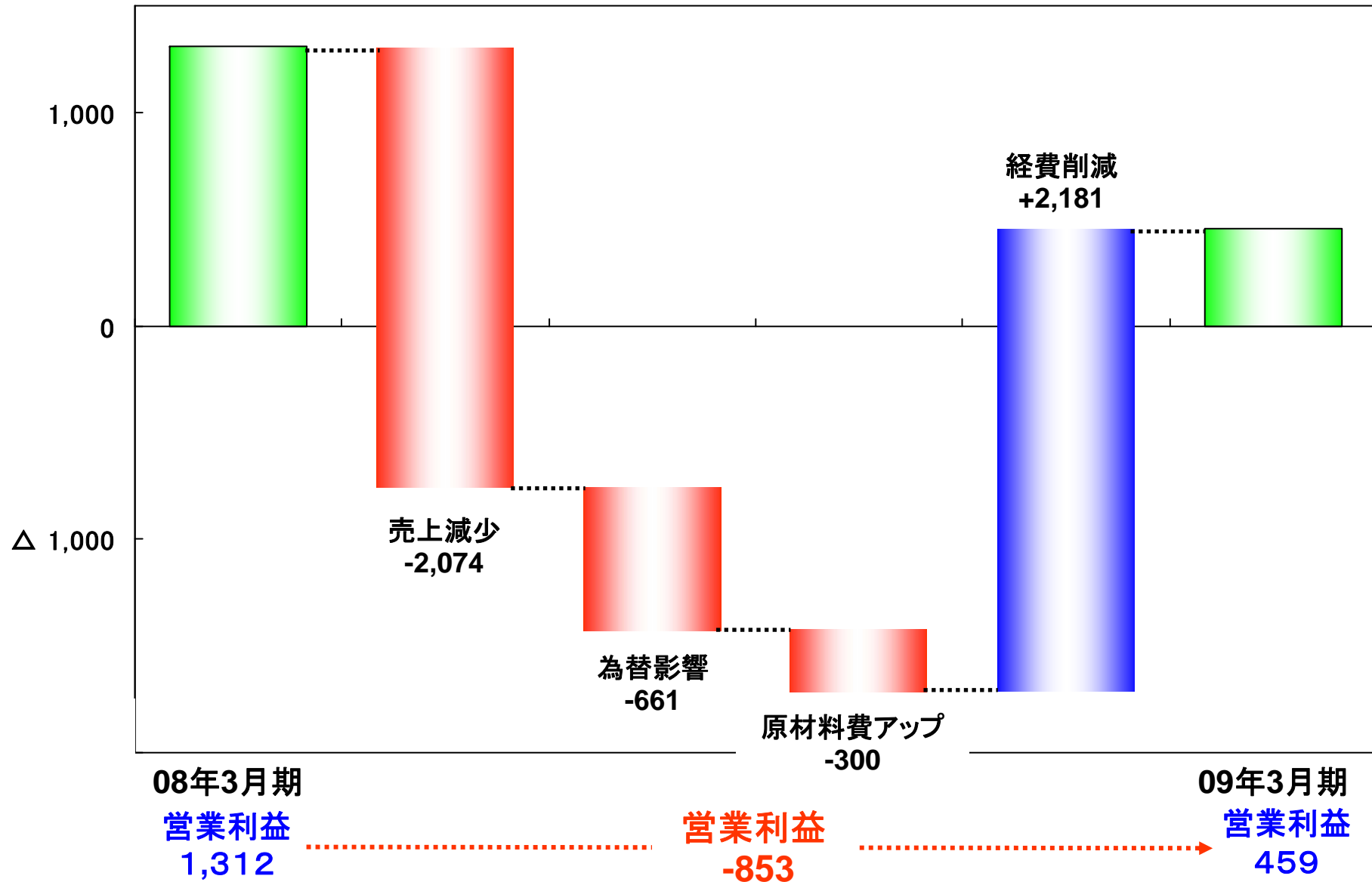


四半期業績推移

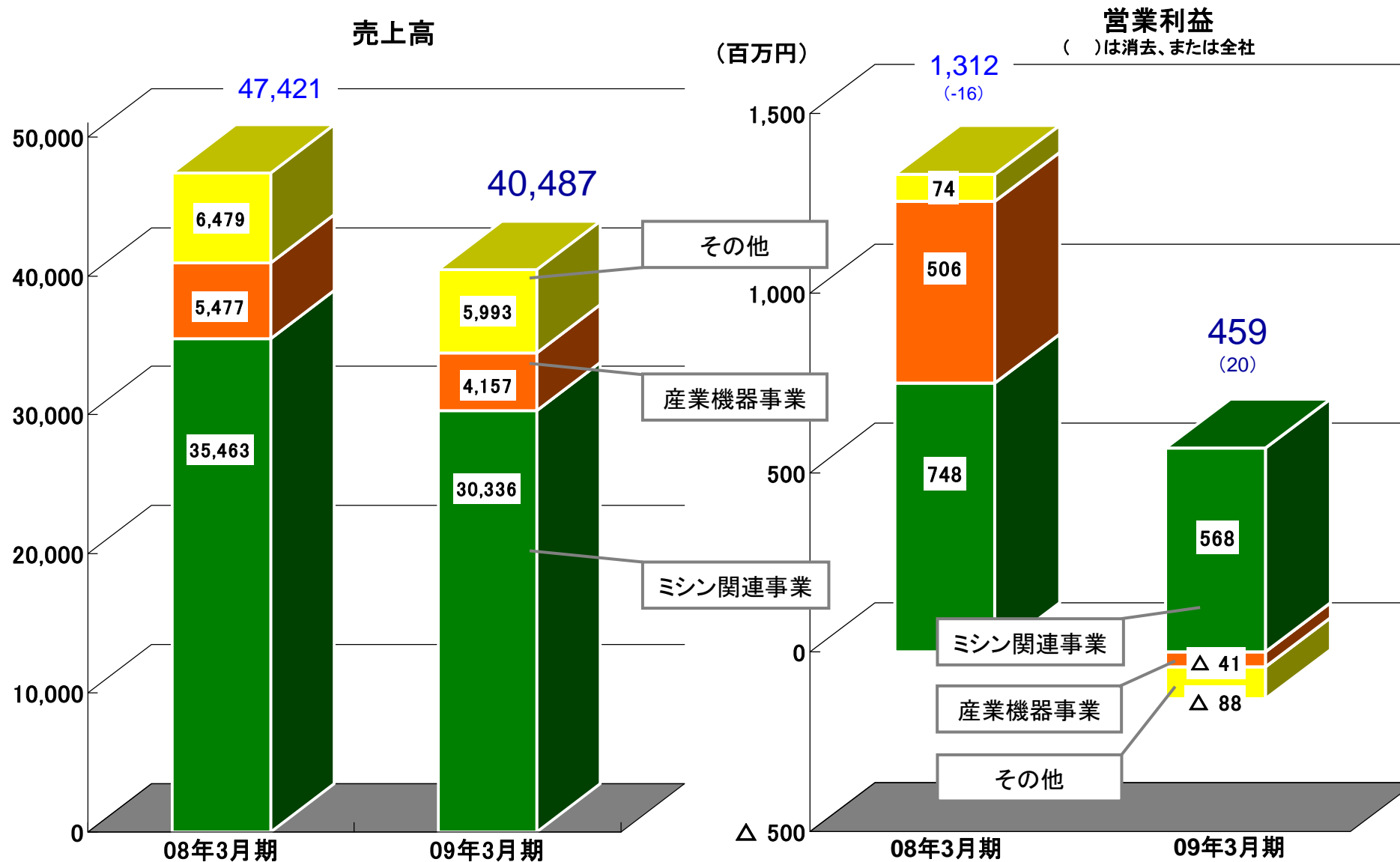


営業利益減少の内訳(前年同期比)

(百万円)



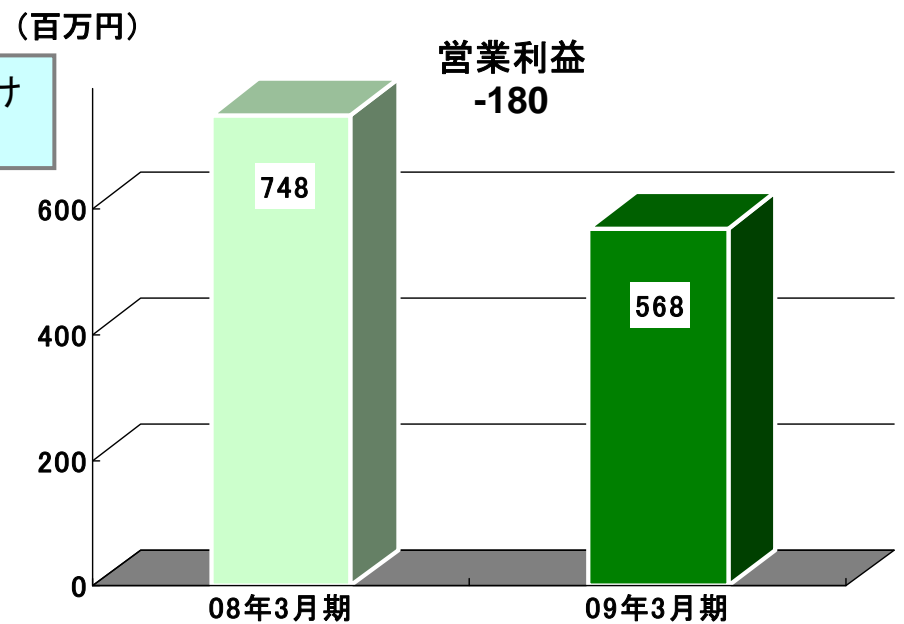
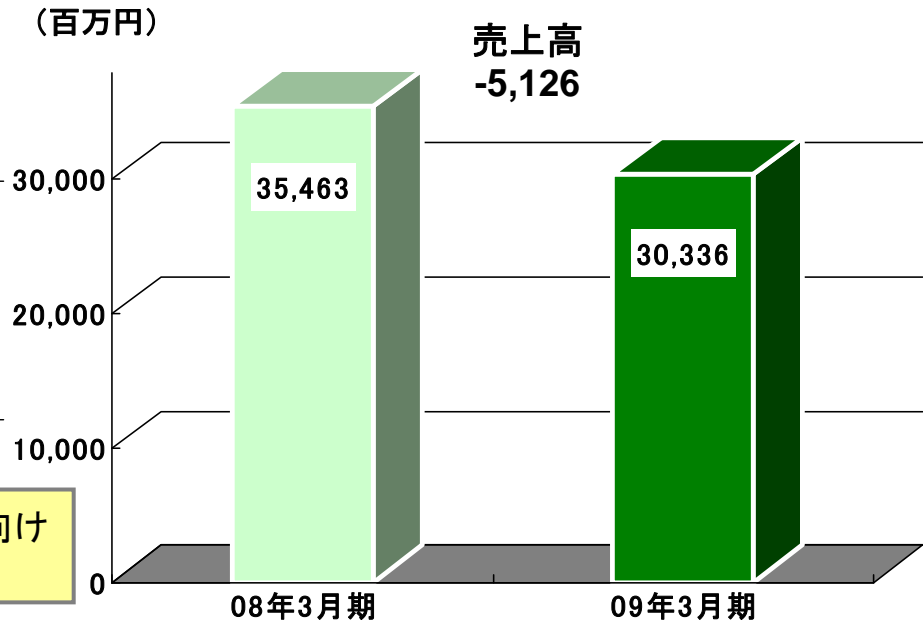
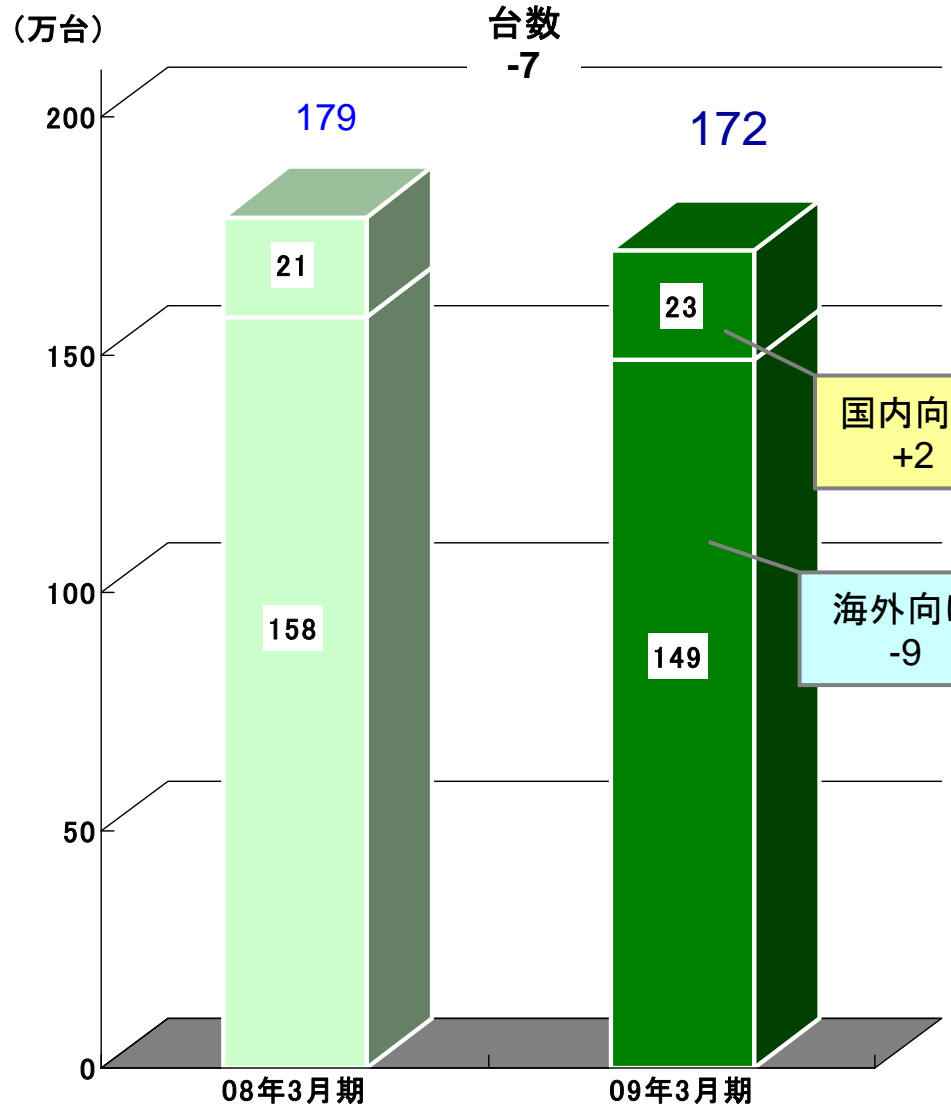
セグメント別業績



マシン関連事業の概要

- ① 世界的不況による消費者の購買意欲の後退と高額機種之苦戦。
- ② 円高ドル安による売上高の減少。
- ③ 新興市場の現地通貨が下落し、同市場向け販売拡大のスピードが減速。
- ④ 国内販売の数量は拡大したが、平均販売単価が低下。
- ⑤ 上期は購入部品価格の上昇と台湾元高・ドル安により原価が上昇。下期は部品価格が低下に転じ、台湾元も元安・ドル高傾向になったものの、生産数量が減少。

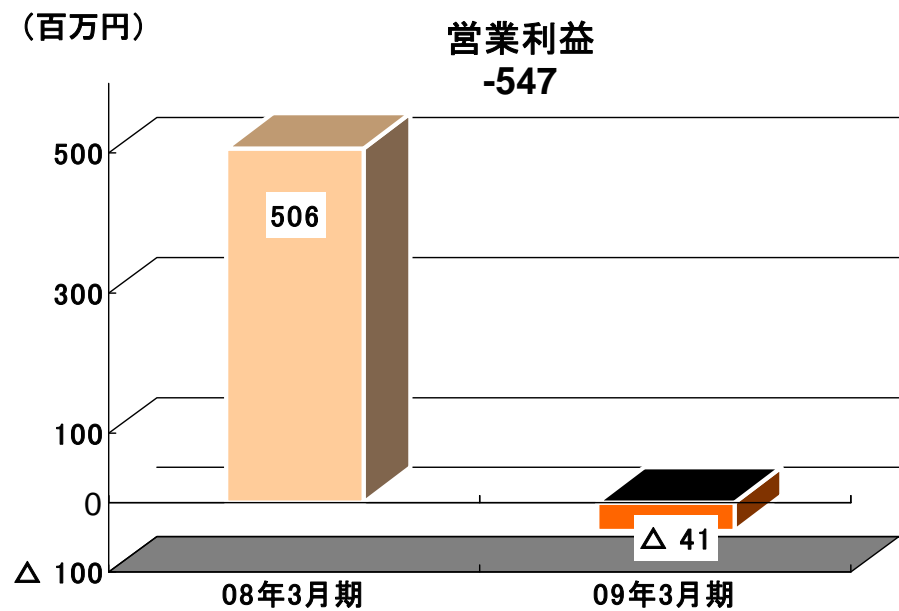
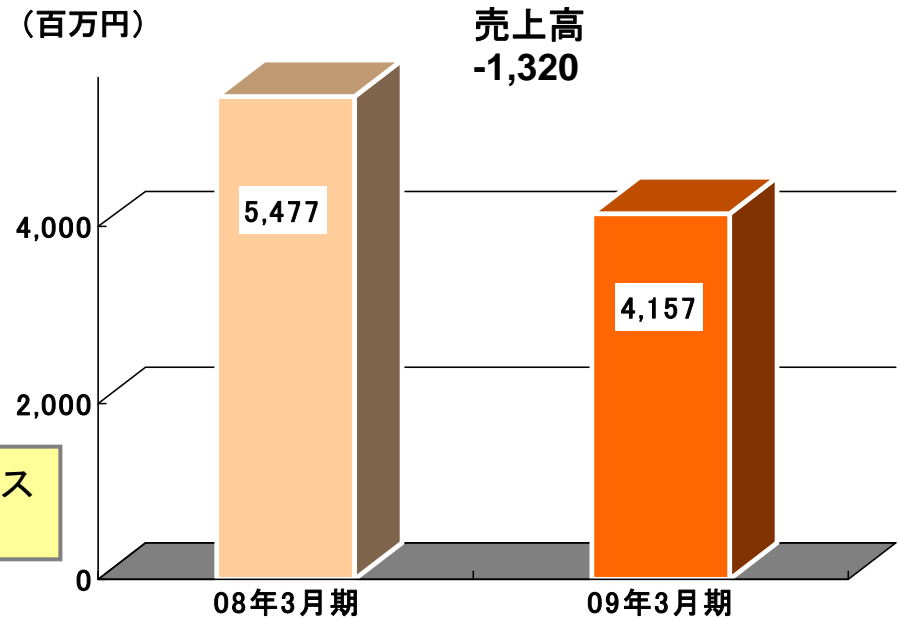
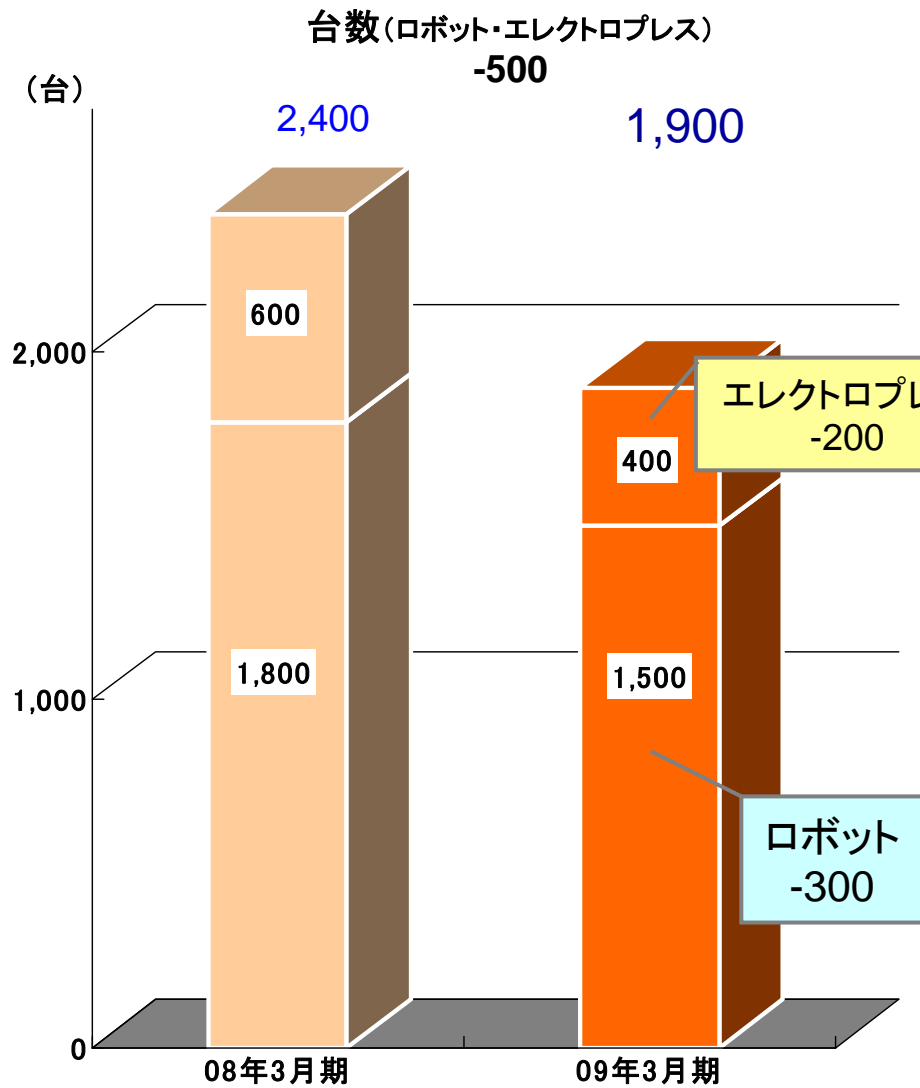
マシン関連事業の業績



産業機器事業の概要

- ① 世界的不況から、企業の設備投資抑制の動きが広まり、ロボット・エレクトロプレス（電気プレス）の販売が苦戦。特に、下半期に大幅に下落。
- ② ダイカスト事業については、自動車関連業界低迷の影響を受け、ダイカスト関連3社の受注が大幅に減少。

産業機器事業の業績



貸借対照表の状況



(百万円)

		08年3月期	09年3月期	増減	
資産	流動資産	22,870	19,114	- 3,756	
	固定資産	35,428	31,883	- 3,545	
	資産合計	58,299	50,997	- 7,302	
負債・純資産	負債	流動負債	17,615	18,635	1,020
		固定負債	21,402	19,620	- 1,782
		負債合計	39,018	38,256	- 761
	純資産	資本金	11,372	11,372	—
		利益剰余金・自己株式	3,379	△ 2,169	- 5,549
		その他	4,528	3,537	- 991
		純資産合計	19,281	12,740	- 6,540
負債・純資産合計		58,299	50,997	- 7,302	

収益改善計画

計画の基本方針

1. ジャノメグループの再構築
2. 製造コストの削減
3. 経費削減の継続
4. キャッシュ・ポジションの改善

計画の骨子

1. ジャノメグループの再構築

① 本社の八王子移転

- 本社の八王子移転を機に、営業・管理・開発・生産が一体となった効率的な経営を行う。

② 生産体制

- 生産台数の減少に合わせ、人員削減・稼働日調整・残業規制・直間比率の改善を行い、効率的な生産体制の構築による製造コストの低減を図る。
- 宝生ミシン製造、トピア工業の清算。

③ 販売体制

- JAIとJAMACの統合を行い、ヒト・モノ・カネの経営資源の効率的運用とディーラー向け販売強化と新規量販店向け販路開拓を行う。
- JAIメキシコ支店を閉鎖し、本社からの直接営業に切り替える。
- 海外販売子会社の規模の適正化による収益改善。
- 国内における直営支店の統廃合の促進と、地域密着型のオーナー店の拡充。

④ スリム化

- 不況下でも確実に利益が確保できる体制整備に向け、スリム化とローコストオペレーションの徹底を図る。

2. 製造コストの削減

- 原材料価格の低下による部品調達価格の低減。
- VA提案の導入促進。
- 部品の現地調達率を高め、部品輸送コストを低減する。

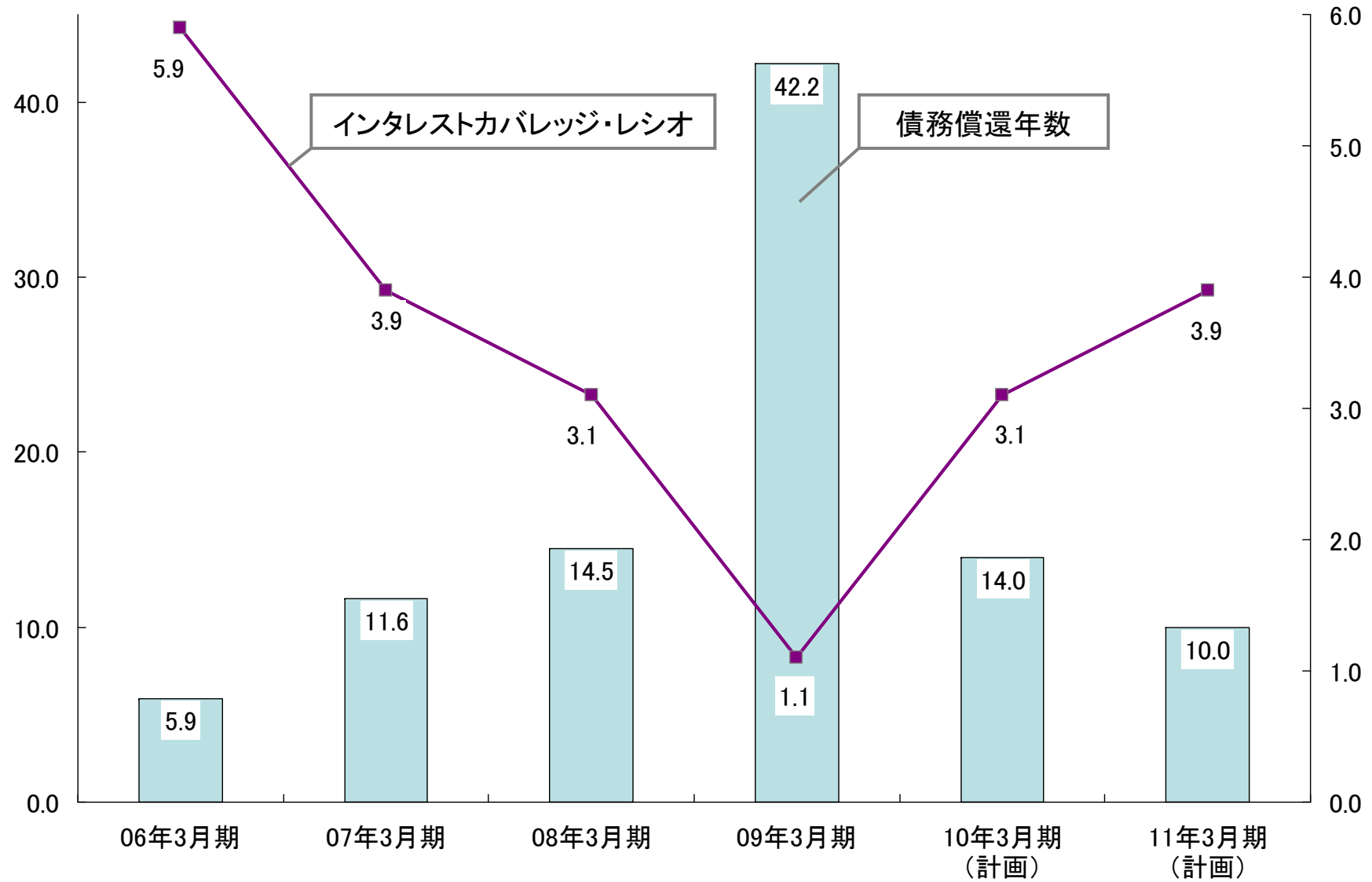
3. 経費削減の継続

- 引き続き、聖域を設けない経費の徹底した削減を図る。
 - 役員報酬の減額
 - 製造部門では当面、4勤3休の稼働日調整実施
 - 営業・管理・開発部門では管理職給与、職位役職手当のカット
 - 賞与支給率カット

4. キャッシュ・ポジションの改善

- 収益の改善
 - 棚卸資産の圧縮と在庫回転率の改善
 - 設備投資の抑制
 - 遊休不動産の売却
- 等により、有利子負債の圧縮を図る。

債務償還年数とインタレストカバレッジ



2010年3月期 計画

通期業績計画



(百万円)

	2009年3月期 実績	2010年3月期 計画	増減 (前期比)
売上高	40,487	37,000	-3,487
営業利益 〔営業利益率〕	459 1.1%	1,000 2.7%	541 1.6%
経常利益 〔経常利益率〕	△ 171 —	500 1.4%	671 —
当期純利益	△ 5,083	600	5,683
為替レート (円/US\$)	100.77	95.00	- 5.77

* 為替レートは期中平均レート

マシン関連事業

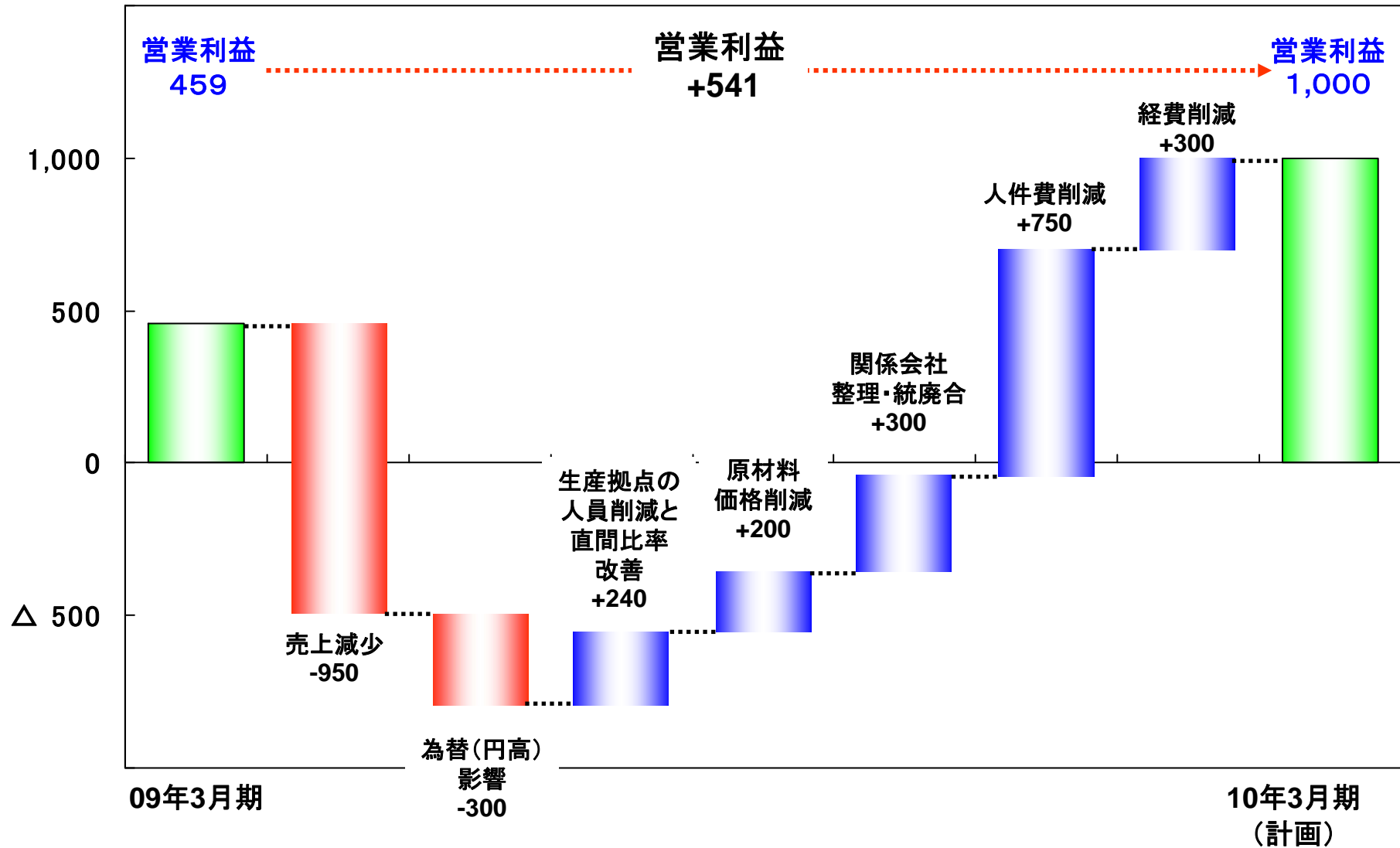
- ① 北米におけるJAIとJAMACの統合。
- ② JAIメキシコ支店の閉鎖と本社からの直接営業への切替。
- ③ 海外販社の適正規模化による収益改善。
(清算による人員減も含め海外販社人員120名減)
- ④ 製造コスト低減による価格競争力の強化。

産業機器事業

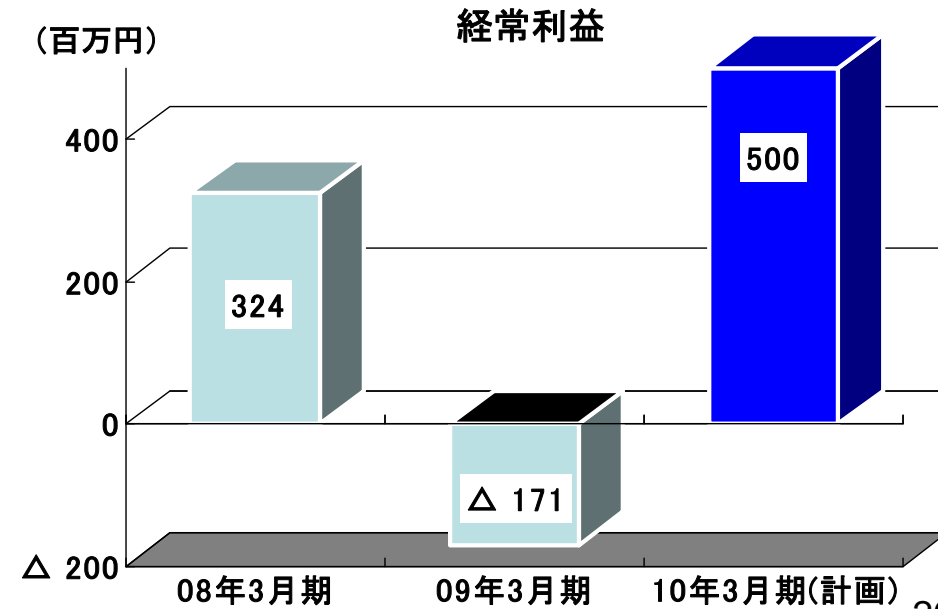
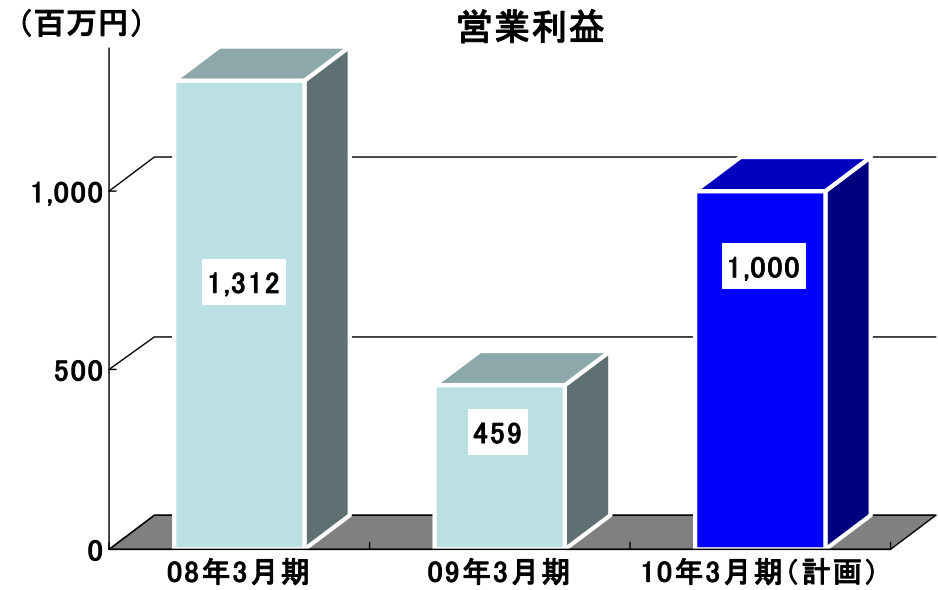
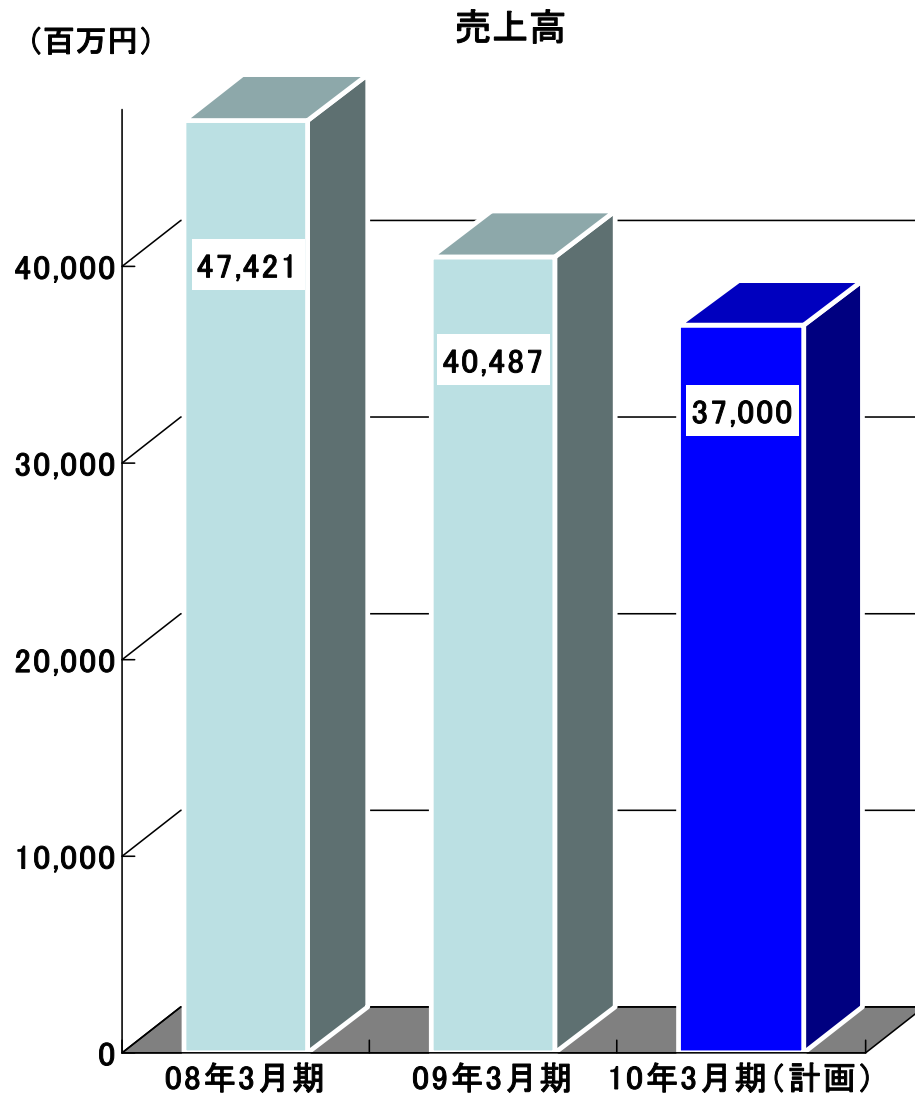
- ① 景気回復期における拡大を視野に入れ、不況を好機と捉えた営業・サービス体制の基盤整備。
- ② 顧客との密接な関係構築による営業力の強化。
- ③ 当社のロボット・エレクトロプレス^oの有用性拡大のための周辺アプリケーションの充実。
- ④ 産業機器分野におけるJANOMEブランドの浸透強化。

営業利益増加の内訳

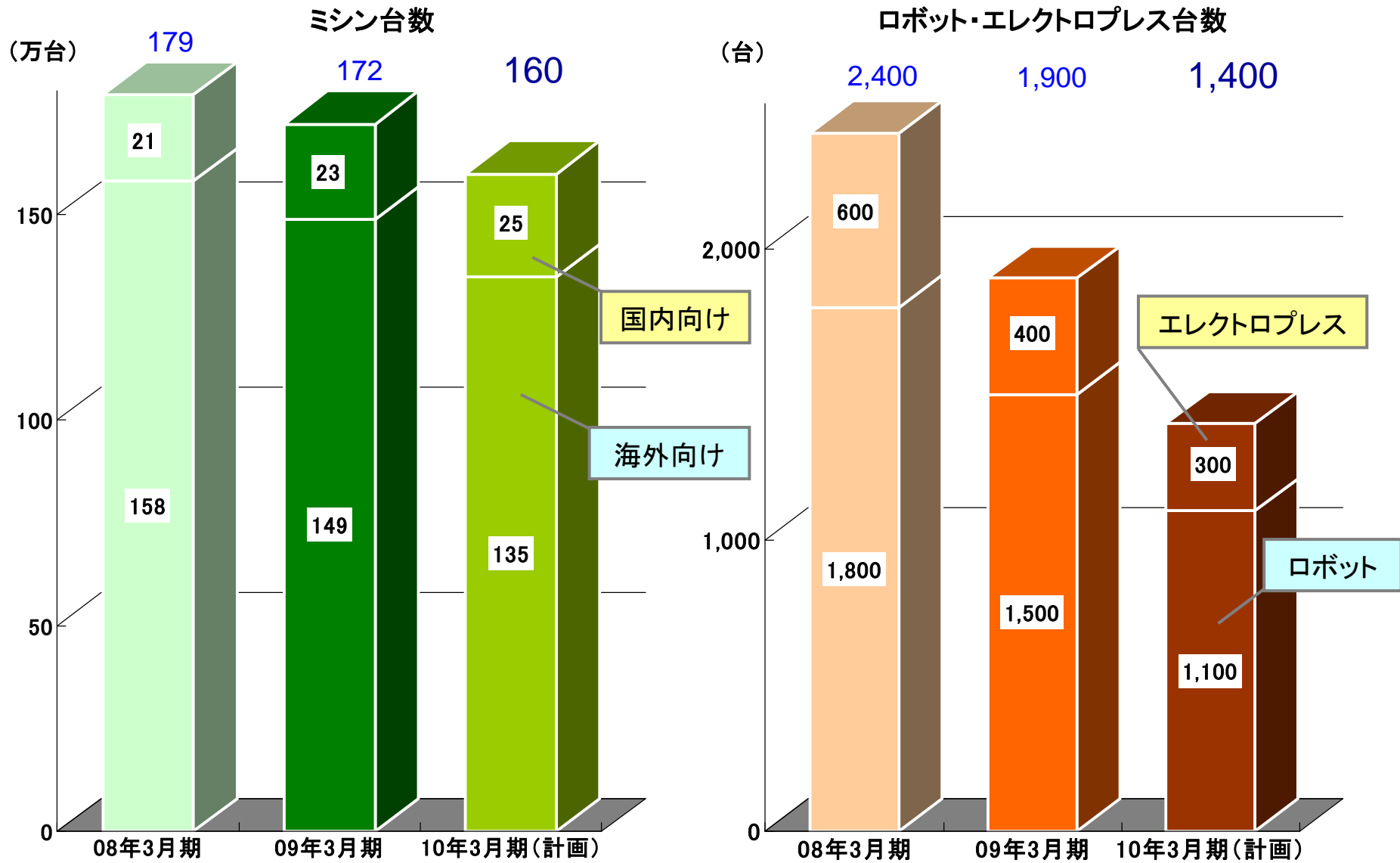
(百万円)



通期業績計画(グラフ)

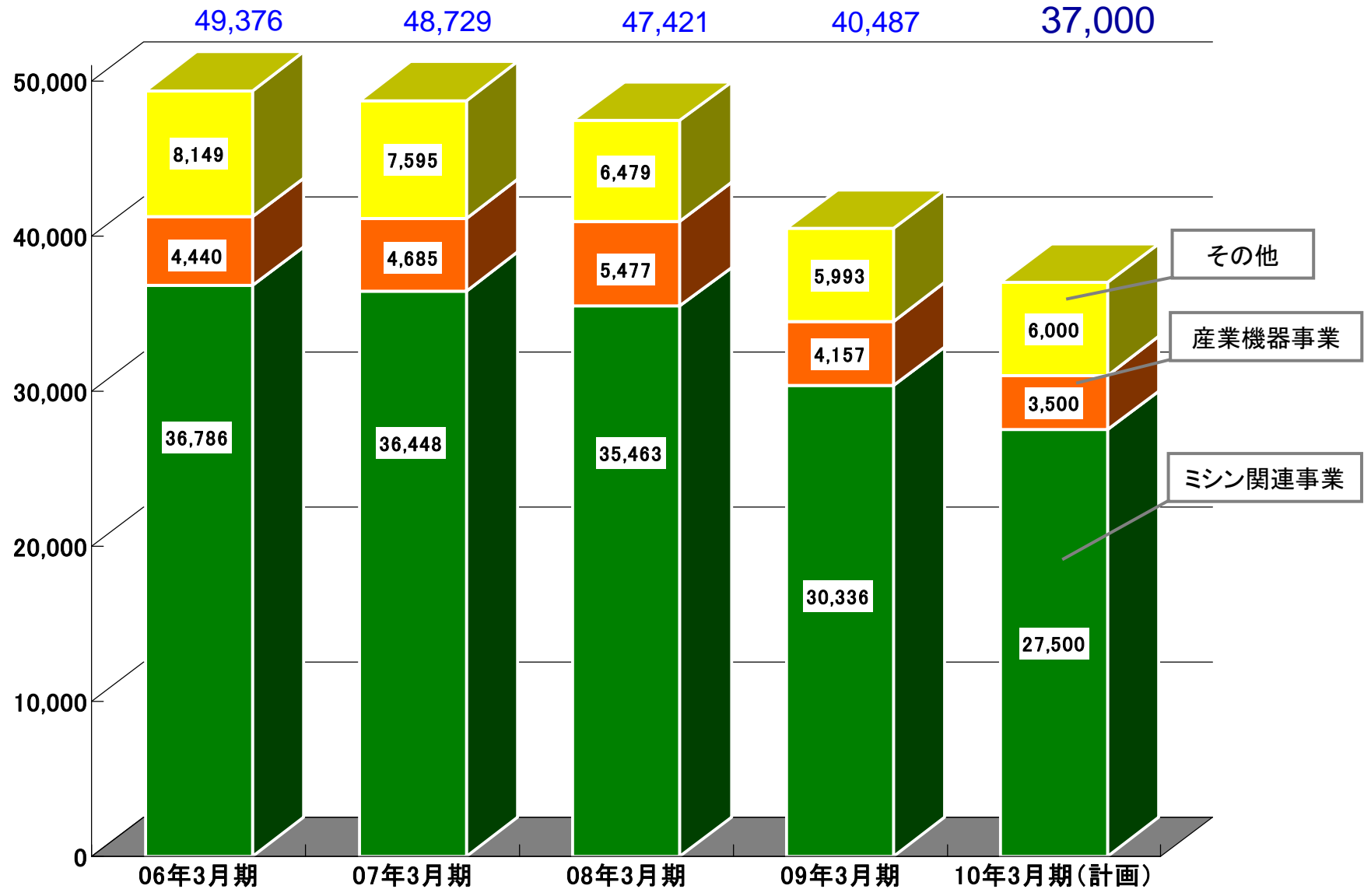


販売台数計画



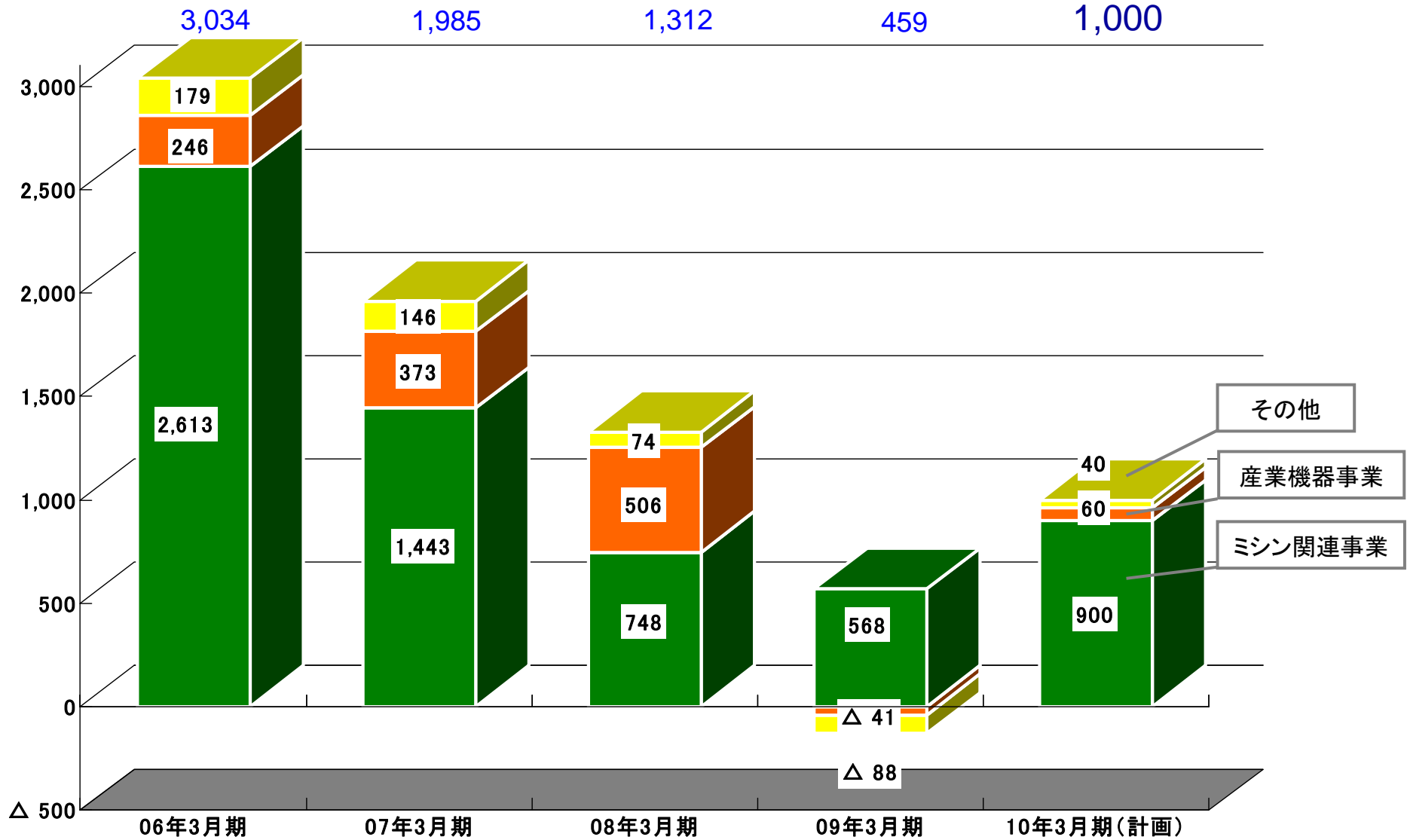
セグメント別業績計画

売上高 (百万円)

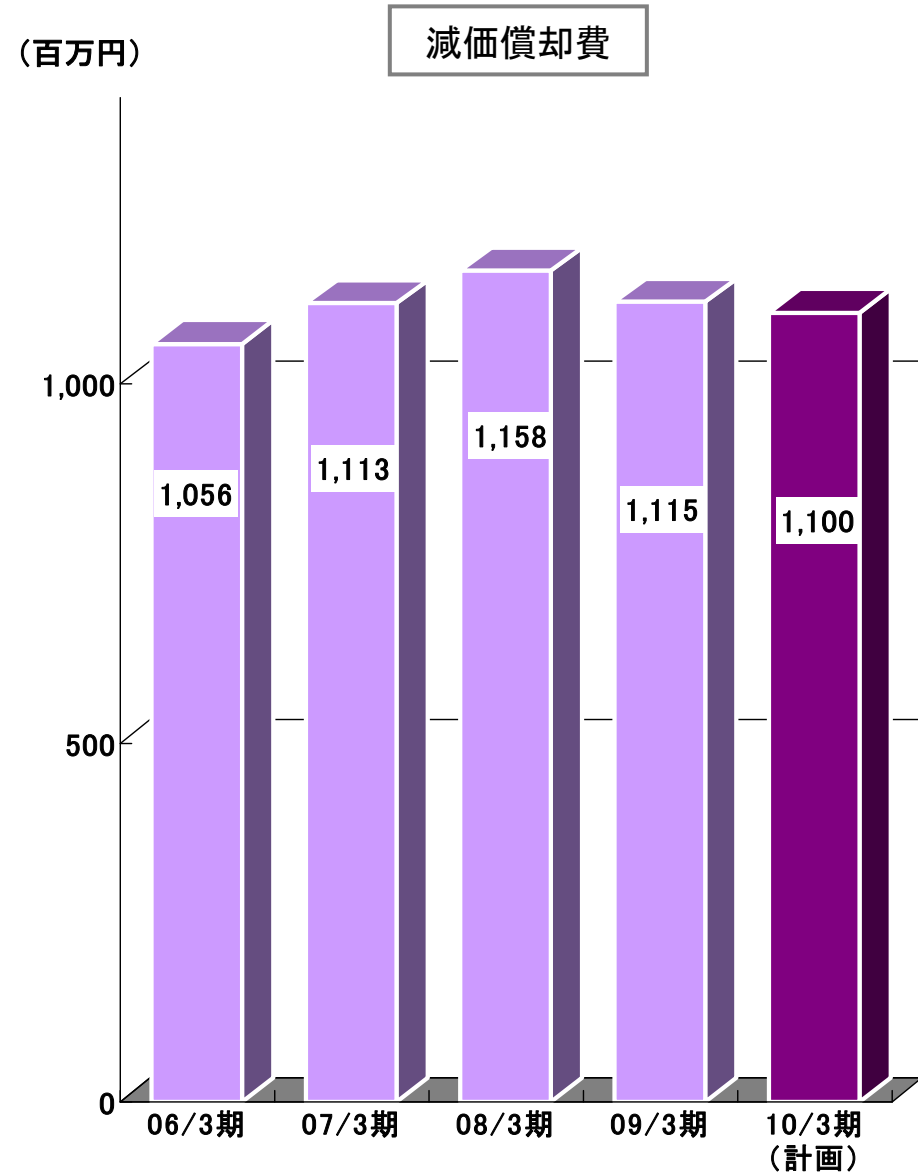
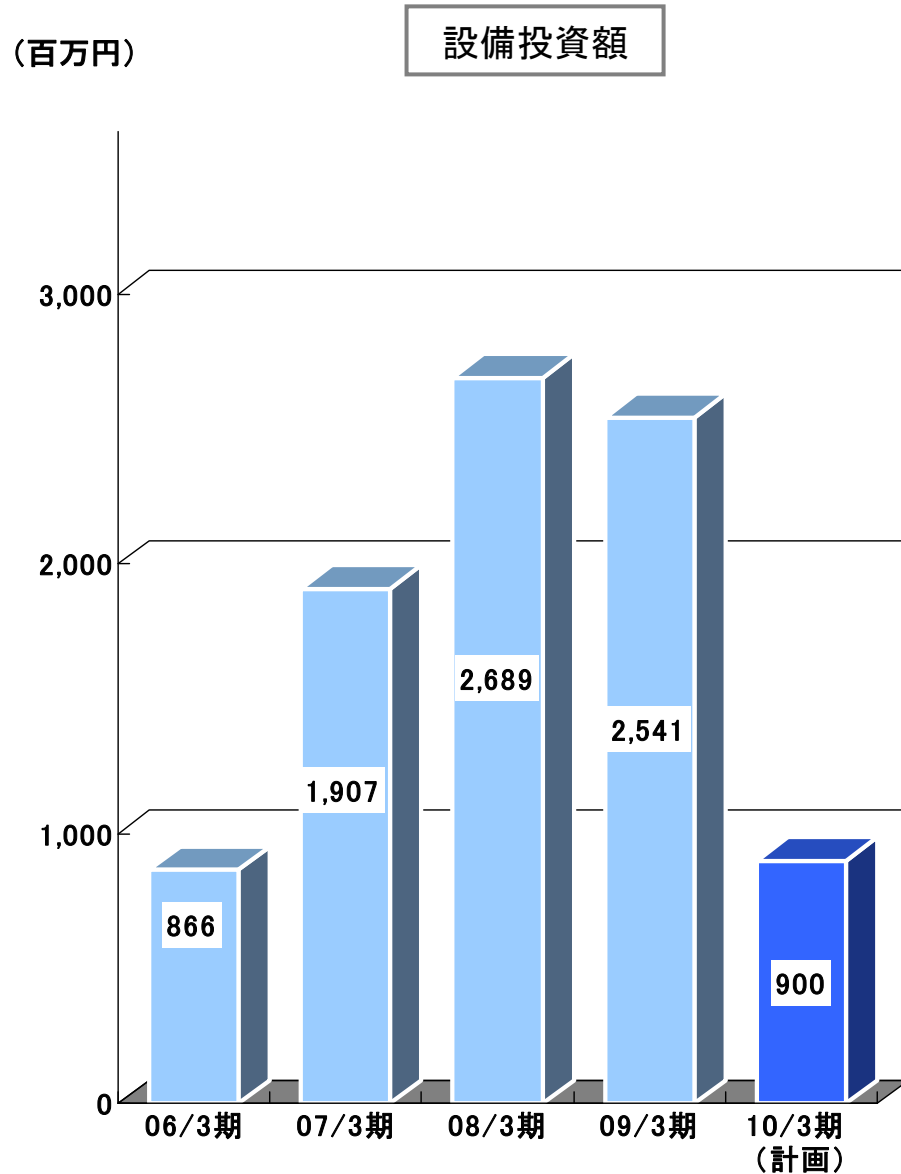


セグメント別業績計画

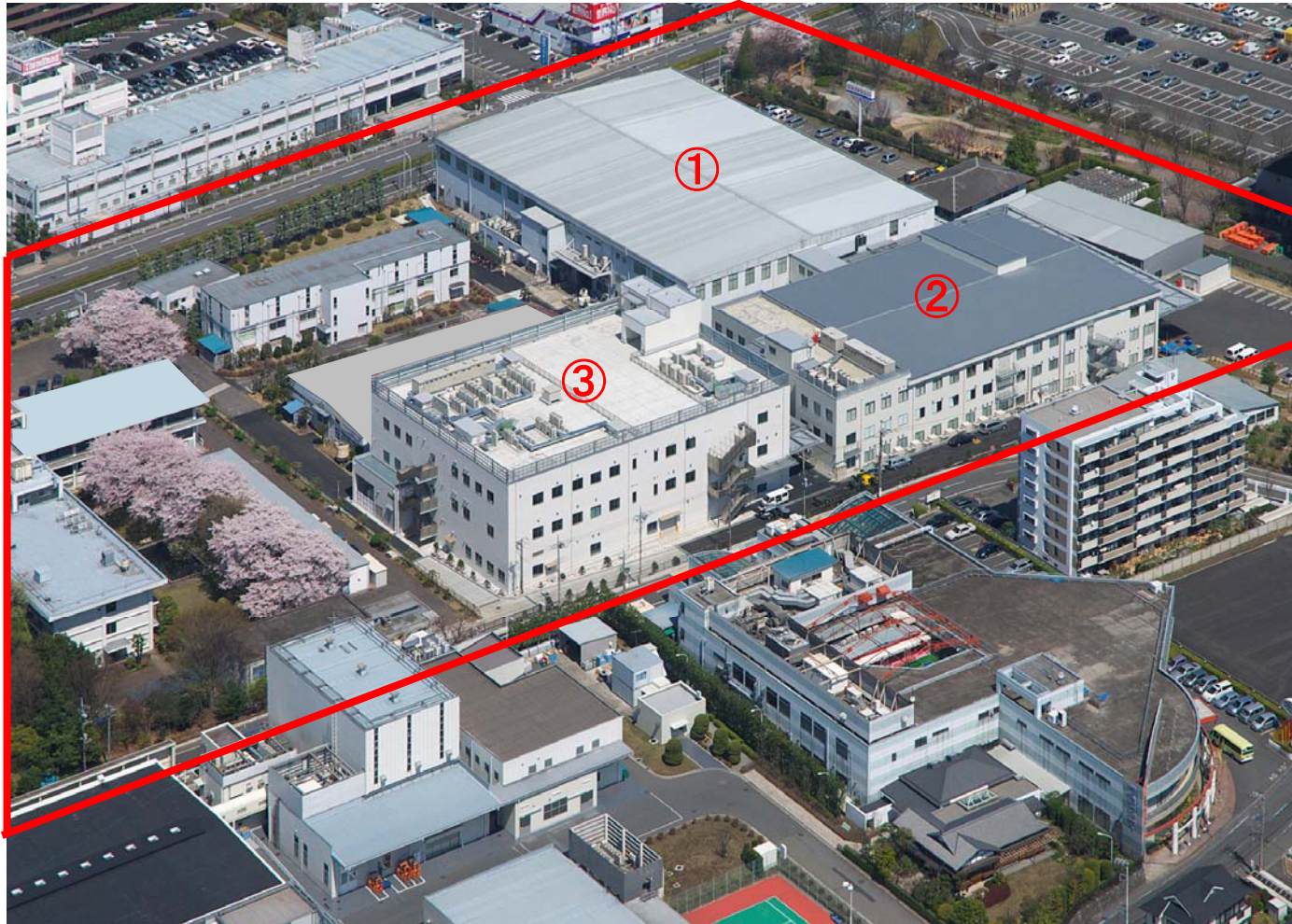
営業利益 (百万円)



設備投資額・減価償却費の推移と計画



本社機能の移転



蛇の目ミシン社屋 全景

蛇の目マシン工業株式会社